



平成30年2月14日

各 位

上場会社名 昭和電工株式会社
コード番号 4004 東証第1部
代表者 取締役社長 森川宏平
問合せ先 財務・経理部 IR室長 加藤信裕
TEL (03) 5470 - 3323

通期連結業績予想と実績との差異、特別損失の計上、
並びに配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成29年12月12日に公表した平成29年12月期通期連結業績予想と本日公表の実績に差異が生じました。また横浜事業所において特別損失を計上いたしました。加えて、平成30年2月14日開催の取締役会において平成29年12月期の配当予想を下記の通り修正することを決議いたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 平成29年12月期通期連結業績予想と実績との差異

(1) 平成29年12月期通期連結業績

(平成29年1月1日～平成29年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (平成29年12月12日発表)	百万円 773,000	百万円 70,000	百万円 55,000	百万円 21,000	円 銭 147.34
実績(B)	780,387	77,818	63,962	33,470	234.84
増減額(B)－(A)	7,387	7,818	8,962	12,470	
増減率(%)	1.0%	11.2%	16.3%	59.4%	
ご参考 前期 (平成28年12月期)	671,159	42,053	38,690	12,305	86.27

(2) 差異の理由

売上高は、無機セグメントと石油化学セグメントにおいて市況が前回予想を上回ったため小幅な増収となりました。

営業利益は、石油化学セグメントではアジア市場の堅調な需給を受け製品のスプレッドが前回予想を上回り、無機セグメントでは主に中国子会社が黒鉛電極市況の上昇を受け、それぞれ前回予想を上回りました。

経常利益は主に営業利益の増益を受け前回予想を上回りました。

親会社株主に帰属する当期純利益については、横浜事業所の有効活用に向けた特別損失の計上はありましたが、経常利益の増益により前回予想を上回りました。

2. 特別損失の計上（横浜事業所）

当社は、横浜事業所（神奈川県横浜市）において事業再構築を進めております。このような状況下、土地の有効活用を図る中で生じた遊休設備の撤去および既存設備の移設を行うこととし、撤去・移設にかかる費用等 76 億円を特別損失に計上いたしました。

なお、当該土地については、大都市圏に立地し海外からの船舶が着棧可能な港湾施設を有していることから、今後も引き続き積極的な活用策を検討してまいります。

3. 配当予想の修正

(1) 配当予想の修正

	1株当たり配当金（円）			
	平成29年5月11日	第2四半期末	期末	年間
前回予想	30円00銭	0円00銭	30円00銭	60円00銭
今回修正予想	30円00銭	0円00銭	50円00銭	80円00銭
前期実績（平成27年12月期）		0円00銭	0円00銭	0円00銭

（注1）平成28年7月1日付で普通株式10株につき1株とする株式併合を行いました。平成27年12月期は株式併合前の株式数を、平成28年12月期は株式併合後の株式数を基に算出しております。

（注2）平成29年6月27日に開催の株主総会において平成29年5月11日を基準日とする1株当たり30円の配当を実施しております。

(2) 理由

連結業績予想と実績に業績の上振れ差異が生じたことに伴い、今後の事業展開および財務状況等を勘案し、当期末に株式1株当たり前回予想から年間20円増配となる、株式1株当たり50円の配当を実施することといたします。

以上